

事業所名

放課後デイサービスcalme(ちやるむ)

支援プログラム

作成日

2025年

1月

14日

| | | | | |
|-----------|-----------------|--|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | フランス語のCalme（気持ちがやわらいで落ち着くこと）から名付けたちやるむでは、子どもたちが楽しく自分らしく過ごし、そして気持ちがりフレッシュできて、また明日からの学校生活に歩みだす、1人ひとりにとって『心地いい場所』であることを大切にしていきたい。 | | |
| 支援方針 | | 誰もが「自分らしく過ごせる場所」として、一人ひとりの気持ちや思いを尊重し、次のようなことを大事にします。○職員と一緒に遊び、関わりを楽しむ中で、信頼関係を育み、子どもがほっこり落ち着けたり、安心して過ごせること ○遊びや活動の中で、友だちと一緒に楽しい経験を積み重ねていくこと ○「楽しかった」「面白かった」と満足して過ごせること自己肯定感や自信・意欲を育てていくこと（「できた！」という達成感）○自分の意思や思いを伝えられるようになる、やりとりできていくようになるなど、コミュニケーションの力を育てていくこと ○体幹や手先の力を育てていくこと（運動遊びやクッキング、制作活動など）○遊びや活動を通して、「こうしたい」「これがしたい」と自分で選んだり、決めたりできる主体性を育てていくこと○生活体験（買い物プログラム、公共交通の利用、他） ～学童期→青年期への成長を見通しながら、個々の発達や年齢に応じて、友だちとの関わり方や距離の取り方、規則や決まりに従うことなどもあわせて支援します。 | | |
| 営業時間 | | 平日 9時30分から | 18時0分まで | 送迎実施の有無 あり 但し、希望性（回数制限あり） |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 毎日検温し、体調管理に気をつけて元気に過ごせるよう配慮します。登所時の荷物の片付けや帰り支度など身の回りのことを自分ですることが定着していくよう取り組みます。また、ちやるむでの活動や生活の中で、次にすることに対して何をしなければいけないか、必要に応じて声をかけて一緒に確認したりしながら、準備をしたり時間を意識しながら見通しを持って行動できるよう支援していきます。 | | |
| | 運動・感覚 | 公園や室内遊び、野外活動などの中で、運動や身体を動かす活動をする機会を作りながら、バランス力や体幹の安定を養います。また、やってみて「できた！」の達成感や自信を積み重ねていくとともに、身体でコツや面白さを体感することによって、「またやってみよう！」という気持ちを育てていきます。さらに、クッキングや制作などの活動の中で、見本や手順書を用いるなどわかりやすい工夫をしながら、様々な道具操作や細かい手の動き、また指先に力を込めたり、ゆっくり、そっとなどの調整がある動作を、楽しみながら積み重ねていくことによって、目と手の協応能力や手指の巧緻性を高めます。 | | |
| | 認知・行動 | 状況に合わせて、個別に声掛けをしたり、一緒にやってみるなど、“やってみたい”気持ちをサポートしながら、「できた」という手応えや「楽しかった」という満足感を積み重ねていけるよう支援していきます。好きなことをじっくりと取り組む時間を保障していくことで、気持ちに余裕や充足感を持ちながら、苦手なことやあまり好きではないことにも、気持ちが向かえるように支援していきます。また、子どもの成長発達に応じて、大切なことを自分で文字にするなどの提案をしていき、聞き逃さない術や話の聞き方、ポイントをつかむ力の向上を目指します。さらに、買い物学習などを通して、時には電卓なども用いて自分で計算しつつ、品物を選んだり、決められた予算の範囲内で買い物をする経験をしていきます。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | 職員や友だちとおもちゃや場を共有するなかで、友だちと関わり合えるような機会を作りながら、少しずつコミュニケーションの楽しさが膨らんでいくよう働きかけていきます。そして要求や思いを、写真カード・発声・ジェスチャーなどいろいろな表現手段で伝えようとすることや、写真やイラストなどの選択肢を見て、自分で選んで相手に伝える経験を積み重ねます。お喋りができるようになれば、話をゆっくり聞いてもらう中で、自分の思いや考え、気持ちを主張したり、時には相手の言葉や話をしっかり聞いてやりとりしていけることを目指します。また、相手と意見などがぶつかったときには、職員が間に入り、友だちの意見や気持ちを一旦受け止め、考えていく機会を作ります。 | | |
| | 人間関係 社会性 | まずは、好きな遊びや「おもしろそう」「やってみよう」と興味を持った遊びを、職員や友だちと一緒に楽しんだり、その中で「楽しい」「おもしろい」という気持ちを交わし合ったりしながら、職員との共感関係を太らせていきます。そして、集団の中でも職員が間に入りながら、友だちと思いを伝え合って、人と関わることの楽しさがより膨らんでいくよう支援し、友だちと一緒に遊ぶ「楽しさ」や“充実感”を感じる中で、友だちとの会話や遊びが広がっていくように支援していきます。 | | |
| 家族支援 | | 年1回～2回の個人懇談を実施し、悩みや疑問をお伺いし、ご相談にのりながら、家庭や学校生活に関する助言などを行っていきます。また、定期懇談以外にもご希望があれば、随時、懇談の機会を設けます。 | 移行支援 | 外出活動の中で、公共交通機関を利用したり、買物や様々な地域の施設を利用する中で、社会的ルールを守り行動すること、そして興味・関心・探求心に繋がるよう取り組みます。また、必要や希望により学校と連携し情報共有していくことも大事にしています。 |
| 地域支援・地域連携 | | ご家族が利用されている相談支援事業所との情報共有を行い、相談支援事業所がケース検討会などを実施される際には積極的に協力・参加していきます。 | 職員の質の向上 | 成長に応じた支援についての専門研修、及び権利擁護・虐待・身体拘束についての研修、その他、安全や感染症に関する研修などを実施 |
| 主な行事等 | | 夏休みプログラム、冬休みプログラム、春休みプログラム | | |